

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞 銅賞

税金の大切さ

行田市立西中学校

三年 牛嶋 蒼彩

私たちの身近な税といえば、一番に消費税が思いつきます。普段何気なく支払っている消費税ですが、その消費税がどのような場面で使われているのか、またどのような役割を果たしているのか、詳しく考えたことが無かったため調べてみようと思いました。

消費税とは、買い物などの支出に対して支払う税金です。また、現在の消費税率は八パーセントですが、令和元年十月一日には十パーセントまで増税されることが決定しています。なぜこのように年々、消費税率が上がっているのでしょうか。

それは、医療・年金・介護・福祉・子育てなどの社会保障費を賄うために消費税などの税金が使われるからです。社会保障とは私たちが安心して生活していくために必要な公的サービスのことをいいます。例えば、教科書を配布するなどの子育てに対する教育の補助や、入院をしたときにかかる治療費の軽減をする医療への取り組みがあげられます。

現代の社会では、少子高齢化が進んできました。その中の問題の一つとしては、社会保障の費用が増えていくにも関わらず、その費用を負担する働き手が減っていることです。これを知り、私はこれからの将来、社会保障の費用が増えていくことによつ

て、それを負担する働き手がいなくなってしまうのではないかと考えました。それと同時に、私たちが普段払っている消費税などの税金は、その負担に対しての手助けをするとても重要な役割を果たしていることを知ることができました。このようなことから、一人一人が、税金を支払うことを理解し、誰もが過ごしやすい環境をみんなで作り上げていくことはとても大切だと思えました。

また、消費税以外の「税金」もさまざまな場所で使われています。私たちの身近な場所では、学校や図書館、公園などの多くの公共施設、そして、火災や災害から私たちを守るために消防署が救急活動をしたり、私たちの身の安全を守るために警察が犯罪の取り締まりをすることにも税金が使われていることが分かりました。ですが、もしこの税金がなかったとしたら救急車を呼ぶ事もできず、警察もいなくなってしまうのです。そのようなことが起こったら、平和で安全な国ではいられなくなり、犯罪なども今より増えてしまうのではないのでしょうか。このようなことから、税金の大切さについて改めて考え直すことができました。

私も、後三年と少しで選挙権を持ちます。選挙は、これからの社会を決めていく大切なものです。私は、税金の使い道を決めることはできません。しかし、その使い道を決めていく人を選ぶことは可能だと思えます。大事な税金の使い道を誰に託すのか、自分でもしっかりと考えた上で選挙にも臨んでいきたいです。